



平成 30 年度第 4 回 JASDI フォーラム
これからの医薬品情報と ICT を考える
Drug Information and Communication Technology

近年、医療情報のデジタル化とそのデータの集積により、AI（人工知能）技術の利用、また高度な通信技術やWebを用いた情報発信等が可能となり、いわゆる ICT（Information and Communication Technology）の医療での利活用が話題となっています。

医薬品においても ICT を用いることにより、新たな医薬品情報の創出と利用が可能となることが期待されます。

本フォーラムでは、医薬品情報における AI 等最近の ICT 利活用への現状と課題や、より身近な ICT の活用法等についてご講演頂き、これからの医薬品情報と ICT とのあり方と期待について皆様と議論していきたいと思っております。

日 時:平成 31 年 3 月 9 日(土)13:30~16:55 (受付開始 13:00 から)

場 所:東京大学医学部 2 号館 3 階 大講堂

https://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_02_03_j.html

主 催:日本医薬品情報学会(JASDI)

〔プログラム〕(演題名は全て仮題です。)

13:30~13:35 開会挨拶

(一社)日本医薬品情報学会 理事長 林 昌洋

座長:(公社)東京都教職員互助会 三楽病院 薬剤科 永野 靖典

基調講演 13:35~13:55 これからの医薬品情報と ICT(DICT)を考える

杏林大学医学部付属病院 薬剤部 若林 進

講演 1 13:55~14:20 医薬品情報への AI(人工知能)活用のこれからと期待

国立がん研究センター東病院 薬剤部 望月 伸夫

講演 2 14:20~14:45 医薬品 ICT 管理の現状と課題

JA 北海道厚生連 帯広厚生病院 薬剤部 佐藤 弘康

—休憩(14:45~15:00)—

座長:(一財)日本医薬情報センター データベース検索サービス課 井上 彰

講演 3 15:00~15:25 医薬品情報の身近な使いこなし

独立行政法人国立病院機構 埼玉病院 薬剤部 荒 義昭

講演 4 15:25~15:50 4 月から始まる新記載要領添付文書の XML 化

日本製薬団体連合会 情報提供プロジェクトリーダー 井上 学

15:50 ~16:40 総合討論

16:40~16:45 まとめ・閉会の挨拶 (一社)日本医薬品情報学会フォーラム委員会 副委員長 鈴木 信也

フォーラム参加費： 会員・賛助会員 3,000 円、非会員 5,000 円、学生 1,000 円(当日会場にて)

申込方法：日本医薬品情報学会のホームページよりお申し込みください(<http://www.jasdi.jp/>)。)

申し込み締め切り：平成 31 年 2 月 28 日(木) ただし、定員に達した場合は途中で締切ります。

本フォーラムは、「医薬品情報専門薬剤師」の認定及び更新のため、日本医薬品情報学会が指定する講演会です。本フォーラム 1 回の出席、「受講証明書」をもって認定単位「5 単位」が、また「受講証明書と指定の研修レポートの提出(証明書)」をもって更新認定単位「5 単位」が取得できます。

研修レポートの提出など詳細は、JASDI ホームページでご確認下さい。詳細は日本医薬品情報学会のホームページをご確認ください(<http://www.jasdi.jp/>)。)

希望者には、公益財団法人日本薬剤師研修センターの「認定薬剤師研修受講シール2単位」または「日病薬病院薬学認定研修単位シール」を配付致します(予定)。